

海外インターンシップ ガイダンス

大阪大学 大学院情報科学研究科

鬼塚真

onizuka@ist.osaka-u.ac.jp

(質問は随時上記アドレスまで)

2025年4月3日

ガイダンス内容

- 海外インターンシップ
 - －意義、目的と内容、位置づけ
 - －単位取得のためには
 - －スケジュール
- 海外インターンシップ応募について
 - －海外インターンシップ応募と選考について
 - －研究科からの費用補助について
 - －応募書類の記載事項

海外インターンシップの目的と内容

- 目的

- 海外の大学・研究機関に赴き、情報科学分野、または他分野との融合科学分野において、本研究科との共同研究を経験することで、グローバルな視点で国際協調連携型プロジェクトを、強いイニシアティブで先導する手法・能力を体得する。

- 内容

- 情報科学分野または他分野との融合科学分野で国際的な実績を有する大学・研究機関へ渡航し、渡航先の研究開発グループと連携し、本研究科と相手先であらかじめ設定する当該分野における共同研究開発・調査課題に従事する。与えられた課題を達成すると共に国際協調連携型プロジェクトを強いイニシアティブで先導する手法・能力を体得する。帰国後、研究科が開催する最終報告会においてその成果・達成事項について報告する。

海外インターンシップ科目

- 科目は4科目

記号	意味
M	前期課程
D	後期課程

×

記号	意味
S	4週間
L	8週間以上

4単位

8単位

－ 科目名一般形：海外インターンシップ{MD}{SL}

－ 例：海外インターンシップM(S)

- 開講時期は2種類

－ 4月開始(通年科目)

－ 10月開始(年度跨り科目)

－ (国内)インターンシップとは科目区分が異なることに注意

海外インターンシップの種別と位置づけ

Introductory

Masters students

M (S)

情報技術者としての**基礎語学力**だけでなく
国際的視野・バランス感覚を養う。

M (L)

近年のグローバル時代において十分に通用する情報技術者
としての**国際的視野・バランス感覚**を体得する。

Doctoral students

D (S)

情報科学分野の研究者としてのグローバルな視点で
国際協調連携型プロジェクトを推進する**手法・能力**を体得する。

D (L)

グローバルな視点で**国際協調連携型プロジェクト**を
強いイニシアティブで先導する**手法・能力**を体得する。

Advanced

- M(S) D(S)
 - 4 weeks(+)程度の短期型インターンシッププログラム
- M(L) D(L)
 - 8 weeks(+)程度の長期型インターンシッププログラム

単位取得のための手順(概要)



KOANでの申請
(履修届)



海外インターンシップ
応募書類の提出・選考・合格



出発前ガイダンス
(承認された学生を対象とする)



出発準備
(安全対策、ビザ手配 等)



海外研究機関・大学 滞在



成果報告会での発表

海外インターンシップスケジュール

- 応募 -

4/3: ガイダンス(CLEで掲示)

- 海外インターンシップの説明
- 海外インターンシッププログラム応募方法
- その他

9/30応募締切(ただし、渡航予定日の2カ月前に必ず提出すること)

審査会(国際交流タスクフォース)

- 候補者の選定
- 費用補助上限額の決定
- その他

候補者の発表

海外インターンシップスケジュール例

出発前ガイダンス(渡航1カ月前までに実施)

- － 危機管理、安全対策面の確認
- － VISA取得手続きについて
- － 誓約書の提出
- － 海外旅行保険

帰国後

- － 成果報告会等については後日調整
 - － 帰国時期が学生により大幅に異なる場合は、個別に報告会を開催
- － 帰国後、速やかに大学院係に帰国報告と報告書を提出

過去の海外インターンシップ体験記

海外インターンシップに関する研究科のウェブページ

<https://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/students/lecture/international.php>



研究科について

専攻紹介

研究者紹介

受験生の方へ

在学生の方へ

企業の方へ

ニュース&トピックス

アクセス

お問い合わせ

学内専用ページ

サイトポリシー

English



● 在学生の方へ ● 講義・履修 ● 高度教育活動

教育の国際化

大阪大学大学院情報科学研究科では、教育・研究の国際化とによる大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援する人材の育成）（通称：PRIUS）という取り組みを実施し

この取り組みでは、環太平洋諸国の研究機関や大学と連携した視野で先導できる優秀な人材を育成すべく国際的な人材育成（International UniverCity）を構築しました。このネットワークに派遣しました。

この取り組みは、多くの成果をあげ平成20年度末で終了しました（JASSO）留学生交流支援制度（短期派遣）（プログラム枠と題するプログラムを提案し採択されました。平成21年度から実施してきました。

平成25年度からは、研究科の費用補助、およびヒューマンインターンシップ（試行）という形で実施します。

海外インターンシップ

今年度の海外インターンシップはこちら

これまでの海外インターンシップ

2024年度（令和6年度）

2023年度（令和5年度）

2022

カナダ・オタワについて

オタワはカナダの首都で、カナダ政治の中心地です。議会(Parliament)や中央官庁、様々な国の大使館があります。オタワはカナダの歴史を色濃く反映した都市です。カナダ戦争博物館など、街の至るところにカナダの歴史を伝える博物館があります。

そうした政治の中心でもある一方、カナダの多文化主義を象徴する都市でもあります。様々な人を文化や人種の隔てなく受け入れる文化があり、食事に関しても様々な国の料理を楽しむことができます。コミュニティに関しても、多くの国のコミュニティを見つけることができます。

文化・言語・食事・コミュニティの観点から移民の方や留学生にとって選択肢の多い都市です。

天候は、日本と同様四季を楽しむことが出来ます。9月～10月にはオタワはカナダを代表するカエデの木の綺麗な紅葉に包まれます。一方で、11月末頃から厳冬となり、冬を過ごすには工夫が必要です。



Carleton University



12月上旬のオタワ



応募様式, 応募要領

研究科について

専攻紹介

研究者紹介

受験生の方へ

在学生の方へ

企業の方へ

ニュース&トピックス

アクセス

お問い合わせ

学内専用ページ

サイトポリシー

English



● 在学生の方へ ● 講義・履修 ● 高度教育活動

教育の国際化

大阪大学大学院情報科学研究科では、教育・研究の国際化と高度化を目標とする大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）の支援する人材の育成（通称：PRIUS）という取り組みを実施してきました

この取り組みでは、環太平洋諸国の研究機関や大学と連携し、さまざまな視野で先導できる優秀な人材を育成すべく国際的な人材育成ネットワーク International UniverSity）を構築しました。このネットワークのもと、アップに派遣しました。

この取り組みは、多くの成果をあげ平成20年度末で終了しましたが、その（JASSO）留学生交流支援制度（短期派遣）（プログラム枠）に「最先と題するプログラムを提案し採択されました。平成21年度からは、このを実施してきました。

平成25年度からは、研究科の費用補助、およびヒューマンウェアイノベーション（試行）という形で実施します。

海外インターンシップ

今年度の海外インターンシップはこちら

これまでの海外インターンシップ

2024年度（令和6年度）

2023年度（令和5年度）

2022年度（令和4年度）

海外インターンシップ Internships abroad

2025年度第1期 (School Year 2025, 1st Period)

締切 (deadline): 2025年9月30日 15:00（ただし渡航予定の2カ月前までに必ず提出すること）

提出先 (where to submit): 情報科学研究科 大学院係 (IST admin office)

問合せ先 (questions): 鬼塚真（担当教授）までメール

メール: onizuka@ist.osaka-u.ac.jp

募集要項 (guidelines)

様式A (form A)

様式B (form B)

ガイダンス資料

注意 (notes):

外務省海外安全情報で「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」以上の国・地域への渡航は原則禁止です。

2026年3月末までに海外インターンシップを完了し帰国することが条件となります。

KOAN登録時に短期か長期が分からない場合は、長期で登録してください。（If the length of stay is not clear when registering for a course at KOAN, choose the long one.）

国費留学生は申請前に問い合わせてください。（Government-financed students should consult Prof. Matsushita prior to application.）

海外インターンシップ応募について

[応募資格]

- 大阪大学 大学院情報科学研究科 学生

- 前期課程:研究科の費用補助

- 後期課程:研究科の費用補助

✓国費留学生は申請前にご相談ください

✓リーディングプログラム履修生はリーディングプログラムのインターンシップに参加

海外インターンシップ応募について (1)

- Webpage*に、応募様式、応募要領を掲載
- 以降のスライドで、応募方法の概要を記載しているので熟読すること
- 詳細は、応募要領で確認すること

海外インターンシップ応募について (2)

[応募方法]

- － 申請書(様式)をWebpage*からダウンロードして片面印刷する
 - 費用補助を希望する学生は様式A
 - 希望しない場合は様式B
- － 記入して、指導教員の押印をいただく
 - TOEICまたはTOEFLの成績表のコピーを添付すること
- － 大学院係に以下を提出
 - － 原本
 - － コピー(指定された部数分)
 - － 申請書のPDF (メールで提出)

海外インターンシップ応募について (3)

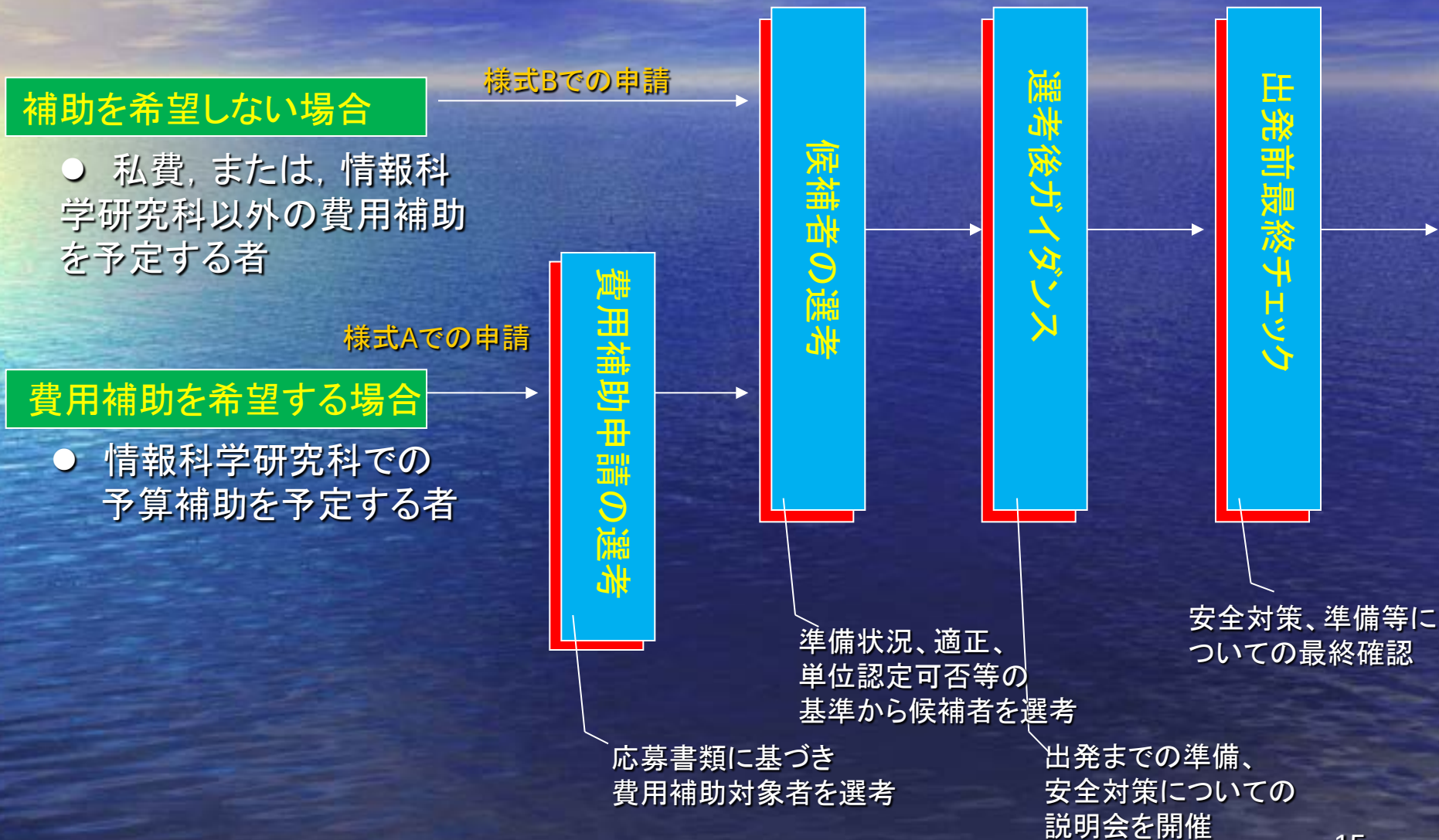
[選考方法]

- － 提出された応募資料の内容をもとに選考する。面接を実施し選考の材料とする場合もある。
 - 準備状況、期待される効果は選考に際して重要視される

[派遣人員]

- － 短期M(**S**): 数名程度
- － 長期M(**L**): 数名程度

応募フローチャート



研究科からの費用補助について

[補助金額と補助対象経費]

- － 国立大学法人大阪大学旅費規則に基づく算定額を上限として、補助金額を決定する
- － 補助対象となる経費
 - 往復航空運賃
 - 日本国内における空港までの往復旅費
 - 現地宿泊費、交通費
 - － 渡航先機関の寮などを利用できる場合は、実状にあわせて支給することがある
- － この制度を利用する場合、私費での滞在延長は、原則として認められない

応募書類の記載事項について (1)

[渡航費等概算額]

- 渡航費、滞在費等、概算できる範囲で記載すること

[準備状況]

- 派遣に関する準備状況を記述すること
 - － 希望する派遣先との連絡状況（コンタクトとなる人は誰か？ 共同研究を進めているか？）
 - － 利用する宿舎、ビザ手続き、等の手続きについて目処があるか否か？
 - － 本研究科以外の費用補助プログラム申請・受給状況について

応募書類の記載事項について (2)

[期待される効果]

- 申請者が海外インターンシッププログラムに参加することによって、どのような効果が申請者自身、情報科学研究科にもたらされると期待されるかについて記述すること

[国際融合科学論、先端融合科学論]

- 受講状況について記述すること
- 受講を強く推奨する

[指導教員所見]

- 申請者の指導教員に、申請者を推薦する所見を記載していただくこと

今回の応募に間に合わない場合

[費用補助を希望しない場合]

- 随時受付
 - － ただし渡航1ヶ月前までに申請書を提出すること
- (研究科ではなく)大学を通じて各種の奨学金に応募可能
 - － <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/scholarship>

[追加応募(費用補助を希望する場合)]

- 実施する場合がある
- 研究科Webなどを通じて通知

具体的な計画がない場合について

[渡航先機関]

- 渡航予定の海外の大学・研究機関について具体的に記入すること

[渡航予定期間]

- 渡航予定期間に関して記入すること。
 - 原則としてM(S)、D(S)は30日、M(L)、D(L)は60日程度以上とすること。Lは3カ月以上推奨
 - 特別の事情がある場合はこれを短縮・延長することができる